

資源制約付きスケジューリング理論による造船工程 計画の自動生成に関する研究

山田, 拓史

<https://hdl.handle.net/2324/4495976>

出版情報 : Kyushu University, 2021, 博士 (工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

| | | | | |
|--------|--|----------|------|-------|
| 氏名 | 山田 拓史 | | | |
| 論文名 | 資源制約付きスケジューリング理論による 造船工程計画の自動生成に関する研究 | | | |
| 論文調査委員 | 主査 | 九州大学 | 教授 | 木村 元 |
| | 副査 | 九州大学 | 教授 | 篠田 岳思 |
| | 副査 | 長崎総合科学大学 | 特命教授 | 梶原 宏之 |

論文審査の結果の要旨

本研究は、造船所特有の大規模な工程計画問題に対し、工程管理情報システムの長期的なメンテナンス性を損なうことなく、適切な問題分割方法と問題の簡略化方法、および実務に則した制約条件の緩和方法を示している。船舶海洋工学上、重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。